

市民からのお便り

小学4年生の息子と一緒に考えました。『親子クイズ』は初めての応募です。当たるといいな〜!

親子クイズ 493

中華料理店に行って、3種類のメニューを注文したら、ちょうど1000円になりました。注文したのは、何と何と何でしょう。

メニュー
チャーハン.....430円
ごはん.....110円
ラーメン.....570円
からあげ.....360円
ギョーザ.....160円
ポテト.....310円
はるまき.....220円
ゴマ団子.....270円

【第492回解答】

答え：C. 15人

【第492回当選者】

- 岩原 静世 (岡豊町)
曳地 樹 (駅前町)
高田 拓 (篠原)
三谷 滋子 (里改田)
西川 美穂 (緑ヶ丘)

★応募総数/54通

★正解率/100%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切/6月12日(水)必着
■あて先/〒783-8501
南国市大埔甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係
*はがきで応募
■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

市民からのお便り

「クイズ」と「にこにこライフ」は大好きで、知人が載っていたりするととてもうれしくなります。

いつかは南の島へ



かたおか せい き 片岡 誠起さん (宍崎)

妻と息子の3人暮らしです。5年ほど前に電気通信設備の会社を退職しました。会社勤めの間は四国各地の現場を回っていたので、退職してようやく自分の家で暮らせるようになりました。今年の1月から地区の総代をしています。総代の仕事はいろいろと会が多く大変です。退職したらのんびりしたいと思いましたが、なかなかそうはいきません。地域のためにのんびりできるようなった小笠原諸島のきれいな海を見たいです。今は、写真だけで我慢しています。

地域とともに



の じ ま あ き こ 野島 明子さん (大埔甲)

ここに住み始めて約半世紀になります。当時は田んぼばかりで、家はほとんどありませんでした。その後、県の官舎などが建ち、人も増え、昭和52年に「榎田町」ができました。榎田町ができた当時から地域の活動に携わってきました。この集落の一番古い住人です。民生委員を引き受けて25年目になります。有志と読み聞かせボランティア「おはなしほけつ」とを立ち上げ、幼稚園や図書館、呼ばれば学校にも出ています。私自身、民生委員はもうすぐ定年となり卒業ですが、これらの活動はずっと続けてほしいですね。

にこにこライフ 155

なんこく歴史散歩 第8回

古代の律令体制で各国に作られた政治の中心地を国府といいますが、土佐国においては、現在の南国市比江に、国府に因る内裏(だいり)・府中(ふちゅう)・内日吉(うちひよし)・国庁(こくちよう)などのホノギ(小字)が残っており、国府がこの地にあったことを物語っています。国府の中で、今の県庁にあたる場所を国府といっています。

土佐国衙跡
これまで27回にわたる発掘調査が行われ、国衙が作られる前に暮らしていた人々の集落跡や、役所関係の建物、遺物が出土しています。しかし、中心となる建物はまだ確定できておらず、まだ調査されていない場所に眠っているのかもしれない。



土佐国衙跡

一雅の時代の中心地「土佐国衙跡と紀貫之邸跡」

紀貫之邸跡
土佐国府の北端中央部に紀貫之邸跡と伝わる場所があります。現在は公園になっており、隣には古今集の庭も整備されて四季折々の風情を楽しむことができます。紀貫之が土佐国司として来任したのは延長8年(西暦930年)から4年間です。その任期が終わり、京へ向けて帰る道中をつづったものが我が国最初の仮名日記文学である「土佐日記」です。公園内には著名な歌人でもある紀貫之の石碑が建てられています。



土佐国衙跡発掘調査



紀貫之邸跡

※お問い合わせは生涯学習課文化財係 (0880・6569) まで

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。
「もっと話そうよ。大切な家族だから」
※お問い合わせは 人権啓発広報委員会 (0880・6569) まで